

# 平成 19 年度事業計画

平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日

岩手県カーリング協会と連携し、協力を得ながら、盛岡地域のカーリング普及活動を行う。

## 1. 第 3 回ビクトリア杯カーリング大会

- ・ 関係諸氏のご尽力により、過去 2 回の同大会は成功を収めたといえる。
- ・ 第 3 回大会は、これまでの活動が評価され、「笹川スポーツエイド」の助成が得られることとなり、より充実した大会運営が望まれる。
- ・ 岩手県内在住のカーリング愛好者を対象としてきたが、昨年は特例措置として宮城県のチームにもご参加いただき、大変充実した大会運営ができ、楽しんでいただいた。
- ・ 第 3 回大会から、岩手県内在住の枠を外し、その対象を日本国内に広げ、シーズンイン時の「イーハトーブカーリングフェスティバル」的大会としたい。
- ・ 11 月 24、25 日の両日共、盛岡市アイスアリーナを既に予約済みである。
- ・ 実行委員会を中心に準備を進める。

## 2. 盛岡カーリングリーグ

- ・ 昨年度の活動計画より、カーリング愛好者のレベルアップを目的に、「盛岡カーリングリーグ」を立ち上げるべく交渉を続けてきたが、今年度より開催できそうな見通しである。
- ・ しかしながら、会場日程の都合もあり、1 日のみの総当りリーグ戦となりそうな見通しであり、詳細については現在も交渉中である。

## 3. カーリング教室

- ・ 当協会設立趣旨の 1 つに盛岡におけるカーリングの普及がある。
- ・ カーリング教室はこれまで同様、継続して開催する。

## 4. 審判養成講習会の招聘

- ・ 協会員の競技に対する理解を深めることを主目的に、日本カーリング協会 C 級審判員養成講習会を、今年度もしくは来年度内に盛岡で開催できるよう準備を進める。

## 5. その他

- ・ 通年型専用カーリングホールの建設：  
専用「カーリングホール」を盛岡に持つことは、岩手県のカーリング愛好者にとって悲願である。今後数年を目途にカーリングホールの建設を目指す。
- ・ 国際交流事業：  
盛岡と姉妹都市の関係にあるカナダ・ビクトリア市とカーリングというスポーツを通じて、これまでにはなかった盛岡とビクトリアとの新たな関係を構築したい。
- ・ 県内交流：  
本協会の全ての事業は、岩手県カーリング協会、二戸広域圏「カシオペア連邦」のカーリング競技界を統括しているカシオペアカーリング協会の協力なしには成り立たない。カーリングを通じた盛岡とカシオペア連邦との県内交流を進めていく。
- ・ 青少年育成事業：  
カーリングの試合はその多くが自己申告等に基づくセルフジャッジであり、「紳士のスポーツ」とも言える。このスポーツを通じて、青少年の心身の健全な発達に寄与したい。将来的には、盛岡・岩手からオリンピック選手を輩出したい。日本車椅子カーリング大会が行われるようになったこともあり、障害を持つ方々にもこのスポーツに親しんでもらえるよう、少しずつ環境を整えていきたい。
- ・ 広報活動：  
協会のホームページを引き続き運営し、広報活動を行う。  
当協会主催事業開催の際には、積極的に各メディアにも通知し報道してもらおう。